

京都弁護士会 集会に550人

河野元自民総裁がビデオ出演

京都弁護士会は22日、京都市左京区の京都教育文化センターで、戦争法案に反対する市民集会を開き、第2会場までいったばい約550人が参加しました。日弁連が共催しました。

京都弁護士会の白濱徹明会長があいさつ。元自民党総裁の河野洋平氏がビデオ映像で約40分間、講演。河野氏は、安倍政権について「いまの政治は恐怖

政治。上に言われたら反対意見も言えない」と懸念を表明。そのうえで「法律をなんとしてもつぶす、(法律を)意味のないものにするためにいっしょにやりたい」とよびかけまし

た。政府が法案の理由にする「国際情勢の変化」について「日々変化する国際情勢で危機を未然に防ぐのは外交しかない」と強調。宮内閣の当時、カンボジアに自衛隊を派遣し、文民警官一人が亡くなったとし「国の命令によって死ぬということ、どれだけ政府に責任があるのか、嫌

た。というほど感じた。国会は本当にリスクや命の尊さを感じているかと思う」と述べました。京都へのメッセージとして「政治的に非常に感性が強いところ。新党結成の当時に宣伝カーから見ると、目がかがっている。京都から火を燃やしてほしい」と激励しました。立命館大学の小松浩教授が講演しました。

参加者は、雨のなか「憲法守って政治しろ」などとコールし、市内を行進しました。日本共産党の穀田恵二衆院議員が参加し、紹介されました。藤木陽子さん(65)は「政治を監視してたつもりが、安易な方に流された。法案をとめ、安倍政権をつぶすしかない」と話していました。



「違憲の法律をつくるな」「強行採決を許さないぞ」と唱和する白濱会長(中央)ら。22日、京都市

戦争法案つぶす 安倍暴走止めろ

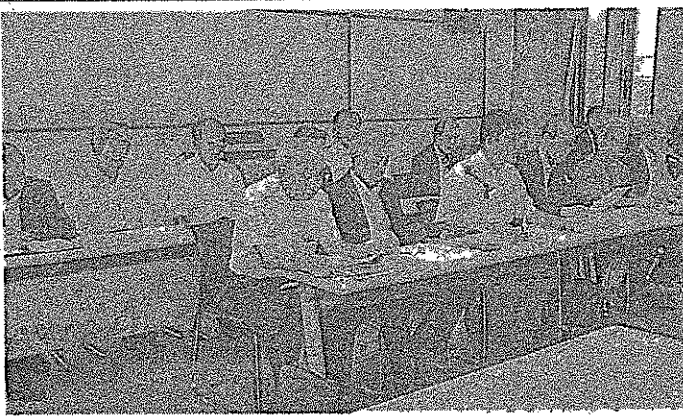
岡山弁護士会 歴代会長が声明

岡山弁護士会の歴代会長有志27人が22日、「安保法制改正法案の強行採決に抗議する岡山弁護士会歴代会長有志による声明」を発表しました。歴代会長有

志が声明を出すのは初めて。記者会見には14人が出席しました。声明は「歴代政府の憲法解釈を一内閣の判断で変更することは、立憲主義に反し、国民

の意思にも反する」とし、廃案を求めています。吉岡康祐現会長は「歴代会長有志の声明は、私たち若い執行部

の力になる。いろんな立場の会長がいるが、立場の垣根を越えて立憲主義に反する安倍政権のやり方は許せないと一致して声明を出した」と述べました。河田英正弁護士は「今回の立憲主義に反する強行採決は、弁護士法1条で基本的人権



記者会見する吉岡現会長(前列左から3人目)をはじめ、岡山弁護士会歴代会長ら。22日、岡山市北区、弁護士会館

の擁護と社会正義の実現を職務として定められた弁護士として認められたい。国民とともに廃案にしたい」と語りました。

7/23
石原